

# 2021年度 岩手県社会福祉士会実践研究発表会



## 【実践研究とは？】

社会福祉士として、より質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことで力量を向上することが大切です！

また、第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められます。

さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討し、援助活動について、一緒に考えてみませんか？

1. 日程 2022年2月19日(土) 13時00分 ~ 16時30分
2. 会場 オンライン開催 (Zoom アプリ使用)
3. 対象者 (1) 岩手県社会福祉士会会員  
(2) 岩手県医療ソーシャルワーカー協会会員 岩手県精神保健福祉士会会員  
(3) 学生 (大学生・専門学校生 (通信課程含む))  
(4) その他実践研究発表に関心のある方
4. 定員 80名 (受付先着順)
5. 参加費 無料
6. 申込方法 下記の申込書にて、連絡先 (事務局) までメール又は FAX でお申込み下さい。  
**申込締切：2022年2月7日(月) 必着**
7. その他 当日使用する ID・パスワード等はメールにてご連絡させていただきます。  
事前に Zoom アプリのインストールをお願いいたします。
8. 連絡先 〒020-0816 盛岡市中野二丁目 16-1 岩手県社会福祉士会事務局：山口  
【FAX】019-613-5506 【E-mail】yamaguchi@iwate-csw.or.jp

フリガナ 氏 名	
住 所	〒
メールアドレス	※当日 Zoom アプリで使用するアドレスをご記入ください
所 属 該当欄に☑を記入	<input type="checkbox"/> 岩手県社会福祉士会 <input type="checkbox"/> 岩手県医療ソーシャルワーカー協会 <input type="checkbox"/> 岩手県精神保健福祉士会 <input type="checkbox"/> 学生 (学校名： ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

－ 実践研究発表会スケジュール（予定） －

時 間	内 容
13:00～13:10	オリエンテーション
13:10～13:40	発表者： 関上 加奈子 氏（カシオペア権利擁護支援センター） 二戸地域における権利擁護ニーズと課題からみえる中核機関の役割について －成年後見制度に関するニーズ調査－
13:40～14:10	発表者： 菅野 大 氏（地域活動支援センター星雲） 精神障がい者を支援する精神保健医療福祉関係者等が抱える困難さとその対策 に関する質的調査 －気仙圏域の関係者等が抱える困難さからこれからの地域課題を考える－
14:10～14:40	発表者： 粟津 優 氏（宮古圏域障がい者福祉推進ネット レインボーネット） コロナ禍における宮古市内小中学校の福祉教育の実際
	休憩5分
14:45～15:15	発表者： 高橋 英成 氏（権利擁護センターぱあとなあ） 社会福祉士の成年後見活動について －ぱあとなあ盛岡の運営から－
15:15～15:45	発表者： 有原 領一 氏（宮古市社会福祉協議会） 子どもの貧困に対する教育現場の意識と福祉的支援の必要性 －福祉と教育と地域の連携を探る－
15:45～16:15	発表者： 原 千亜希 氏（佐藤朋紀法律事務所） 複合的な課題を抱えた後見受任を通して －多職種・多機関連携の必要性 弁護士と福祉各専門職とのコラボ－
16:15～16:30	総評・閉会